

# 定例選挙管理委員会会議録要旨

日 時	令和6年10月8日(火) 午後3時35分
場 所	横浜市開港記念会館 1号室
出席者	吉原委員長、和田委員長職務代理者、森委員、藤代委員
	武島事務局長、石川選挙部長、廣澤選挙課長、古川調査課長
	遠藤選挙係長、田村啓発係長
	間宮専任職、宗仲職員

## 議 事

### 1 委員長専決処分報告

#### (1) 第50回衆議院議員総選挙における選挙人名簿の移替えの延期(方針)について

##### 《主な発言》

委員：9月30日に自民党新総裁が、10月1日の首相就任後、10月9日に衆議院を解散し、10月15日公示、10月27日投開票とする方針を表明していなかったらどうなっていたのか。自民党総裁が首相就任前に解散表明をしたことの効果はあったのか。

事務局：9月30日時点では自民党総裁の立場での発言だったが、10月1日は首相として夜の会見で正式に表明された。早めに解散表明していただいたことで、その分契約事務等の準備に早めに取り掛かることができた。

## 《 報 告 の と お り 了 承 》

### 2 報告事項

#### (1) 第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判官国民審査の概要について

委員全員：異議なし

#### (2) 共通投票所の導入に向けた検討状況について

《主な発言》

委員：令和8年に導入する標準システムは共通投票所にも対応可能になるとのことだが、どの選挙から導入できそうなのか。

事務局：システムの導入は大きな変化になるので、どの選挙から導入するかは進捗状況を考慮して慎重に検討をしており、今後改めてご相談させていただきたい。

委員：現在、期日前投票所では、区内いずれの投票区に属する選挙人でも投票を受け付けられるが、当日投票所でも同じ仕組みで受け付けられるのか。

事務局：区内いずれの投票区に属する選挙人でも投票を受け付けられるという点では、期日前投票所と同じである。そのためのネットワークの仕組みは、現在の期日前投票所は有線ネットワークシステムによっているが、共通投票所は無線ネットワークシステムによることになる。そのため、現在順次電波調査を実施している。

委員：当日投票所の数は変わらないのか。

事務局：投票所の利用状況や地域の実情に応じて検討していくことになると思う。

委員：無線で行う場合はハッキング対策が重要になると思う。

委員長：共通投票所の導入により不測の事態が発生して大きな事故に繋がらないように、リスク管理を検討しておく必要があるのではないか。

事務局：安定的な無線ネットワークの構築やリスク管理については、しっかりと検討していく。

委員長：インターネット投票は将来的に実現可能か。

事務局：技術的にはほぼできるようだが、投票立会人不在の中での投票になるため、本人確認や投票内容の秘密保持がネックになっているようだ。現在の国での検討状況などを整理し、改めて説明させていただく。

(3) 令和6年度 横浜市・区明るい選挙推進大会について

委員全員：異議なし

(4) 区選挙管理委員会委員長等の異動について

委員全員：異議なし

### 3 その他